

山口新聞

平成 24 年 4 月 20 日 (金)

NO. 3

農地・水・環境

守ろう地域の手に



③

つて営農や地域環境が維持されてきた。それが共同作業は消滅し、「泥落とし」などで培われていた住民交流も希薄化していった。

やスイセンの地域ぐるみによる植え付け③環境に配慮した濁水防止や刈り草の堆肥利用④などに取り組んでいる。

阿武川支流の急傾斜な棚田で、主に水稻を栽培している吉部上地域の「毛木の

現状は深刻な課題と考えている。

しかしながら、本対策をきつかけに、①農道、農業用水路の草刈り、鳥獣害防

年数回の共同作業の復活は、労力の軽減や個人では困難な作業を可能にした。地域ぐるみの活動は住民同士の談笑の場となり、地域環境への関心も高まってきている。

水土里を守る会」は、2008年度から地元住民が一体となって農地・水保全管理

数十年前までは、「手間替え」による協力的体制による

護柵の共同管理②あじさい

高齡化と人口減少に歯止めがかからず、今後ますます厳しい状況ではあるが、集落住民が集い安らげる地域として、花のある環境を末永く保全していきたい。

理支払交付金に係る対策に取り組んでいるが、農家、非農家ともに高齡化してい

毛木の水土里を守る会 (萩市)

ふるさとをいつまでも！

金曜日掲載



①「毛木の水土里を守る会」会員の皆さん②地域ぐるみで植え付けたスイセン。花のある環境を目指している

【メモ】代表 平田基

司 会員 農業者 11人、

毛木集落婦人部、毛木地域親睦会 設立 2000

8年6月7日 事務局 山口市糸米2の13の35、

県農地・水・環境保全向上対策協議会 ☎0833・

9333・0755